

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	追分宿における「アーティスト・イン・レジデンス」
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人油やプロジェクト
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,386,800 円 (うち支援金: 1,790,000 円)

### 事業内容

- 1 「アーティスト・イン・レジデンス」  
各種の芸術制作を行うアート作家を軽井沢町追分地区に招聘し、信州追分の文化と歴史を題材とした作品制作を行ってもらった。
- 2 ワークショップの開催  
芸術制作を行うアート作家や作品制作と関連したワークショップ (WS) 等を開催
- 3 広報誌の発行  
「アーティスト・イン・レジデンス」活動と平行して広報誌を創刊し、事業のPRと作品テーマ・題材となる地域の文化、歴史などの紹介を行った。



【版画制作とワークショップ風景】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 作家6名の版画を「油や」館内に展示、作家の知人・友人も多数来場があり、来館者は前年比で約2~3割増加して地域の賑わいに貢献できた。
- 2 版画作家のネットワークを通じてボランティアの講師をお願いし合計10のワークショップ (WS) を開催、親子連れの参加者もあって地域の魅力を体験、感じてもらった。
- 3 広報誌によって作家に作品のテーマを探してもらうことと、本事業のPR、作品テーマ・題材となる地域の文化、歴史などの紹介が効果的に実行できた。

### 【目標・ねらい】

- ①地域の歴史的建物を有効活用
- ②地域の魅力をアートで再認識
- ③賑わい・来館者増加
- ④地域の特色を知らせる情報活動

### ※自己評価【 A 】

【理由】 計画した事業内容を質の高い内容で実行、制作した版画・広報誌の評判・反応も高く、事業を継続していく基盤が出来たと考えます。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

配布した広報誌を見て、9月に京都のアート作家2名が「油や」に来て作品制作をするということがあった。「油や」のギャラリー展示に遠方から訪れるアート作家などからも好意的な意見を頂くこと多かった。歴史遺産である旧旅館建物を有効活用する手段として「アーティスト・イン・レジデンス」事業を版画に限らず作品範囲を広げ、来年以降も継続し定着させる方針。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある